

# 夏の素謡と仕舞の会

海 <small>あ</small>	鷗 <small>おう</small> 鷲 <small>む</small> 小 <small>こ</small> 町 <small>まち</small>	井 <small>い</small>	盛 <small>もり</small>
士 <small>ま</small>	観 <small>くわん</small> 世 <small>せ</small>	筒 <small>づつ</small>	久 <small>ひさ</small>
片 <small>かた</small> 山 <small>やま</small>	清 <small>きよ</small> 和 <small>わ</small>	浦 <small>うら</small> 田 <small>た</small>	越 <small>こし</small> 賀 <small>か</small>
伸 <small>のぶ</small> 吾 <small>ご</small>		保 <small>たも</small> 浩 <small>こう</small>	隆 <small>たか</small> 之 <small>の</small>

OMUKOMACHI

IZUTSU

MORIHISA

AMA



言葉の響きの美しさ——。

素謡 能の台本を謡い語る

仕舞 能の一部を紋付袴姿で舞う

日時 令和6年 7月14日(日) 会場 京都観世会館  
 午前11時開演 (10時30分開場) 京都市左京区岡崎円勝寺町44

入場料 一般前売 4,500円  
 一般当日 5,000円

学 生 2,500円 ※通信講座受講生、放送大学、老人大学は一般料金  
 チケットのお申込みは、お電話、チケット販売サイト、出演能楽師へお願いいたします

全席自由席





# 夏の素謡と仕舞の会

令和六年七月十四日(日)  
午前十一時開演(十時三十分開場)

## 盛久

越賀 隆之 橋本 光史  
寺澤 拓海

地謡  
谷 弘之助 浦部 幸裕  
河村 和晃 越賀 隆之  
宮本 茂樹 橋本 雅夫  
寺澤 拓海 橋本 光史

## 仕舞

道明寺 橋本 擴三郎  
松風 味方 團  
柏崎 道行 吉田 篤史  
女郎花 分林 道治  
地謡  
浅井 風矢  
吉田 潔司  
橋本 磯道  
吉浪 壽晃

## 井筒

浦田 保浩 杉浦 豊彦

地謡  
井上裕之真 深野 貴彦  
大江 広祐 浦田 保浩  
河村 和貴 杉浦 豊彦  
梅田 嘉宏 大江 信行

休憩二十分

## 仕舞

放下僧 小歌 河村 和晃  
夕顔 武田 邦弘  
花筐 クルイ 松野 浩行  
鉄輪 味方 玄  
地謡  
谷 弘之助  
河村 博重  
青木 道喜  
吉田 篤史

## 鸚鵡小町

観世 清和 大江又三郎

地謡  
大江 泰正 浦田 保親  
橋本 忠樹 観世 清和  
田茂井 廣道 片山九郎右衛門  
味方 團 大江又三郎

### 素謡とは

能の台本(謡本)を、舞台上で謡う演奏形式です。謡うことと語ることで情景や心情を表現します。能には「源氏物語」や「平家物語」などの古典を題材にした名作が多く伝わっており、詞(詞章)の美しさは高い評価を得ています。素謡は、その「謡う」と語り(こと)のみのシンプルな表現の面白さから、大正の頃より大変な流行となりました。また、京都には歴史的に「京観世」とよばれる「素謡」の文化があります。江戸初期寛文の時代、服部宗三(九世観世大夫黒雪の弟、服部栖元)の、後に福王盛親が、西陣にあらたに開かれた観世屋敷で謡の教授をしたのが始まりです。以後、京都では能だけでなく、人々が謡だけをたしなむ「素謡」というジャンルが好まれ、連綿と受け継がれてきました。戦前は、京の辻々で謡の音がよく聞かれたようでした。情緒豊かな「素謡」をライブでぜひ聞いてみたいと思います。

能の一部(見せどころ)を、紋付袴姿で、謡にあわせて舞う演奏形式です。ほとんどの曲は扇を持ちますが、演目によっては長刀や杖などを持つものもあります。舞い手の骨格が見えやすいため、能のデッサンと評され、演者の個性と技を楽しめます。数分の演技で能の醍醐味が味わえるのが仕舞です。

### 仕舞とは

能の一部(見せどころ)を、紋付袴姿で、謡にあわせて舞う演奏形式です。ほとんどの曲は扇を持ちますが、演目によっては長刀や杖などを持つものもあります。舞い手の骨格が見えやすいため、能のデッサンと評され、演者の個性と技を楽しめます。数分の演技で能の醍醐味が味わえるのが仕舞です。

## 海士

片山 伸吾 林 宗一郎

地謡  
浅井 風矢 河村 晴道  
樹下 千慧 片山 伸吾  
河村 浩太郎 井上 裕久  
松野 浩行 林 宗一郎

附祝言 (終了予定 三時五十分頃)

主催 公益社団法人 京都観世会

※時間はおよその目安です

### 盛久 あらすじ

源氏に捕らえられ都から鎌倉へ護送される事になった平盛久は、長年信仰する清水寺への参拝を願い出、観音菩薩へ今生の別れをします。逢坂山を越え瀬田の橋を渡り、熱田の浦を過ぎ富士の山の雪を拝み、箱根を越え鎌倉へ。明日までの命と知らされた盛久は心静かに観音経を誦するなか、不思議な告げを夢の中に見ます。翌朝、経を手にした盛久は由比ヶ浜に引き出され最期の時を迎える。経からの霊光に太刀取りの目は眩み、取り落とした太刀が二つに折れます。この事を聞いた頼朝は「清水から汝の為によつてきた、安心せよ」と老僧が告げた霊夢を盛久が見たと知り、この夢を頼朝自身も見ていたという奇跡に盛久を許し命を与えます。「平家物語」を題材に、東海道下りの叙景描写、経の誦誦、奇跡の処刑場面等を通して死に臨んだ鎌倉武士の男気を描きます。観世十郎元雅作。

### 井筒 あらすじ

簡いつつ井筒にかけしあつたが、生心にけらしな妹見ざる間に、これは「伊勢物語」に出てくる平安の貴公子在原業平が有常の娘に送ったアプロロズの和歌。幼い頃井筒の井筒で背比べしてあなたと遊んだ私も、少しあわすする間に随分背が高くなりました(そのころ結婚しててください)。娘は、「比べ来し振分髪も肩過ぎも君ならそらして誰かあぐべき」比べ合つた振分髪も長くなり肩過ぎました。あなた以外の誰のためにこの髪を結い上げますか、と答へ、「二人は結ばれますが、やがて夫は別の女のもとへ通うようになり、妻はそれでも愛する夫を待ち続けます。

世阿弥が渾身の作であるこの曲を「上の花なり」と自ら評価しているように、和歌が多く取り入れられた詞章は中身が濃く、全編を通して、夫への慕う愛情が豊かに表現されています。古典文学に書かれた日本語の美しさが際立つ一曲です。

### 鸚鵡小町 あらすじ

近江国(現大津市)が舞台。和歌の道に愛する時の帝、陽成院は、歌を選び集めようと思ひ立ちますがなかなか名歌が集まりません。そこでついでついでと和歌の名手であった小野小町のもとへ新大納言行家を向かわせませす。芙蓉(蓮の花)にたとえられるほど美しい小町ですが、今は貧しい暮らしの百歳の老女。目は霞んで文字も定かに見えず。帝が変わらねど見し玉簾の内やゆかしく、宮廷は今も恋しいかと尋ねる歌。歌を詠む気力も失せていた小町でしたが、鸚鵡返しの古法で返歌し、行家に歌の道を語ります。そして往時の栄華を懐かしみ、かつて見た在原業平の舞い姿を追憶し、懐旧の舞を舞います。やがて日暮れとともに帰てゆく行家を見送ると、小町は杖にすがりつつ庵に帰るのです。

### 海士 あらすじ

藤原不比等の世継ぎ房前大臣は、母親が讃州(現香川県)志度の浦の房前で亡くなったと聞き、追善のため志度の浦までやってきました。そこへ一人の海士が現れ、唐の高宗の妃となつた不比等の妹が興福寺へ三種の宝を送つたところ、その中の面頬の明珠がこの浦で龍神に奪われた物語を語り始めます。不比等は身をよつてこの浦に下り、海士少女と契り「子をもうけ、明珠を奪い返すことが出来たらこの子を世継ぎに」と海士に約束し、海士は命がけで海に入り、明珠を奪い返したというので、さらに自分に海士の霊であることと、海士が龍女となつて現れ、法華経の力で成仏できたことを喜びます。命がけで海に入り我が子のために明珠を奪い返す様子を語る場面は鬼気迫るものがあり、聴く人を魅了します。

## 夏の素謡と仕舞の会

日時 令和六年七月十四日(日) 午前11時開演(10時30分開場)  
会場 京都観世会館 京都市左京区岡崎円勝寺町44  
入場料 一般前売 4,500円 一般当日 5,000円 学生 2,500円

※上演中の写真撮影・録音・録画はお断りします。  
※携帯電話の着音・時計のアラーム音が鳴らないよう、あらかじめ電源をお切りください。  
※都合により出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。  
※お車の方は、会館東隣りの有料駐車場、または岡崎公園市営駐車場等をご利用ください。  
※公演中止の場合を除き、入場券払戻はできません。



### 交通アクセス

#### JR京都駅から

- 地下鉄烏丸線「丸丸御池駅」にて地下鉄東西線に乗り換え、「東山駅」下車、①番出口より徒歩約5分
- 京都駅前バス(のりばA1より)バス5系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、D2より86・206系統「東山仁王門」下車(乗車時間約30分)

#### 四条河原町から

- バスのりばEよりバス31・46・201・203系統「東山仁王門」下車(乗車時間約15分)

#### 京阪三条駅から

- 市バス5系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車
- 地下鉄東西線に乗り換え、「東山駅」下車